

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 6

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再使用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループ キャンペーンタックラベルにおける 環境対応取り組み

フジシールグループでは、シュリンクラベル・タックラベル・パウチ・機械のすべての開発において、気候変動・資源の持続性・海洋プラ問題などの環境負荷低減するための取り組みを行っています。

環境レポートVol.6では、キャンペーンタックラベルにおける環境負荷低減に焦点を当ててご説明致します。

フジシールグループでは、環境負荷低減を進めながらも、店頭での効果的な販売促進を可能とするソリューションを提供するため、サプライヤー・お客さま・リサイクル事業者と対話を行い、キャンペーンタックラベルの最適化に努めております。



設計における最適化

■ リサイクルプロセスを考慮した設計

キャンペーンタックラベルの環境対応として、環境負荷低減設計が挙げられます。社会全体での環境負荷低減を考えると、使用後、廃棄されるときのことも考慮して設計することが求められています。

世界初(※1)! 飲料用ペットボトルに手剥がし性を改善し ボトルに糊が残らない、キャンペーンシールの導入を開始

この度、サントリー食品インターナショナル(株)『ペプシスペシャル』にてご採用いただいたキャンペーンタックラベルは、

『手での剥がしやすさ』と『リサイクル工程での剥がしやすさ』の両方を兼ね備えたリサイクルプロセスを考慮した新設計が施されています。

今回ご採用いただいたキャンペーンラベルは、

サントリー食品インターナショナル(株)、リサイクル事業者の方々のご協力のもと、PETボトルリサイクルに必要とされる『容器に糊が残らない機能』、ならびにPETボトル特有の『肩部への高速貼付け性』を付与した新しいキャンペーンタックラベルとなります。

※1 2020年3月 サントリー食品インターナショナル(株)調べ



環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 6

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループ キャンペーンタックラベルにおける 環境対応取り組み

商品の販売促進効果と両立する機能として、消費者の皆様がラベルを剥がしやすくなり、万が一容器に残っていてもリサイクル工程で99%容器と分離できる環境対応機能によって、今後さらに必要とされていく日本全体のPETボトルリサイクル率の向上にフジシールも貢献致します。

■ 採用事例

機能1 手での剥がしやすさ

新しく開発した
キャンペーンタックラベル。
手で剥がしても
糊が残らないように改良。



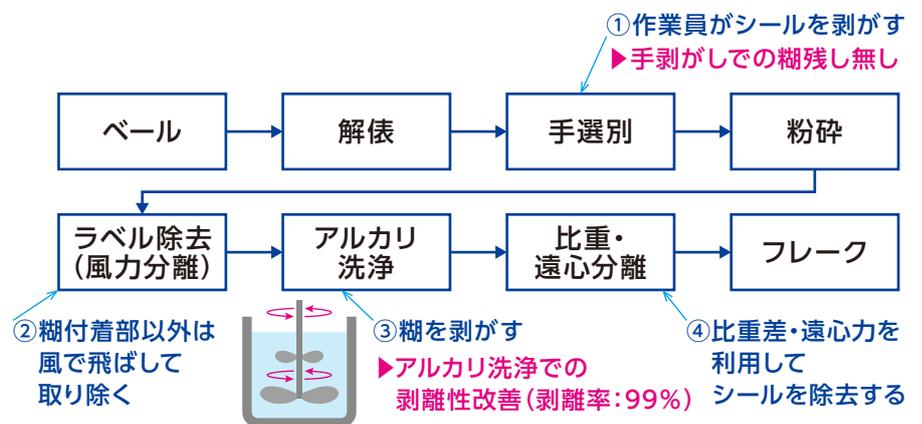
糊がまったく残らない



機能2 リサイクル工程での剥がしやすさ

新しく開発したキャンペーンタックラベルでは、
アルカリ洗浄により、ラベル付きPETボトルフレークから
糊残りすることなく99%以上のラベルが分離可能。

新規キャンペーンシールのリサイクル工程への影響



写真・図: サントリー食品インターナショナル(株)提供

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 6

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再使用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループ キャンペーンタックラベルにおける 環境対応取り組み



原料の最適化

■ 環境負荷低減材料の使用

もう一つのキャンペーンタックラベルの環境対応として、環境にやさしい材料の選定が挙げられます。特に再生材の使用は、資源の持続性や気候変動などへの影響を減らすことにつながります。

弊社では、サプライヤーのご協力のもと、2016年より、使用済みペットボトルを原料とする再生PET樹脂を表面基材の80%以上使用したキャンペーンタックラベルを提供しています。この再生材使用比率は世界最高水準であり、単に材料を切り替えるだけでなく、外観や品質の担保、安定した原料調達により、供給可能となりました。

これからも、フジシールグループでは製品を通じてお客さま、消費者そして社会全体に貢献できるよう、自社のみならず、関係各社との連携を進め、環境対応製品の開発に注力していきます。

コラム

column

日経ESG経営フォーラム参画

(株)フジシールはこのたび社会課題の解決への取り組みを強化し、ステークホルダーの方々からも認めていただけるようなESG経営を行えるよう、日経ESG経営フォーラム参画し、会員となりました。